



福島小学校だより

ふくしま

No. 14
令和3年1月6日



ホームページ <http://www9.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

謹んで新年の およろこびを 申し上げます



校長 中村祐佳子

新しい年がスタートしました。冬休みも終わり、令和2年度も残り3か月となりました。3学期は学年の仕上げをし、次の学年への橋渡しとなる大切な日々です。引き続き新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら、すべての子どもたちが、実り多い充実した学校生活を送れる3学期となるよう教職員一丸となって取り組んでまいります。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

短い三学期を一日一日を大切にがんばるためにも、生活リズムを学習できるリズムに早く戻すことが大切です。生活リズムチェックも明日から始まります。「早寝・早起き・朝ご飯・体を使って外遊び・自主学習」をしっかりと取り組めるようご家庭でも声かけをお願いします。

「ネクスト・ワン」

チャーリー・チャップリンは、映画史上もっとも偉大な喜劇王と言われています。多くの名作に主演し、自分でも脚本を書き、監督をしています。

そんなチャップリンは、「あなたの最高傑作は何ですか？」と聞かれると、「ネクスト・ワン(次の作品さ)」と答えたそうです。つまり、「これまでの傑作に満足することなく、これからもより良いものを求めて前進していきますよ」と答えたのですね。常に「ネクスト・ワン」と取り組んだからこそ、多くの人を楽しませる名作が次々と生まれたのです。

新しい年、私たちもこれまでの成功に満足せず、「新しい最高」をめざして「ネクスト・ワン」と前向きにチャレンジしていきたいものです。

1月の学校行事予定です。

6日(水)始業式、交通・挨拶指導	13日(水)委員会活動 短縮授業	25日(月)スクールカウンセラー来校
7日(木)生活リズムチェック(～13日)	1・2年 13:00頃下校	27日(水)児童会役員選挙(1限)
交通・挨拶指導	3年 13:50頃下校	漢字の博士試験
給食開始、身体測定1・2年	4・5・6年 14:40頃下校	
8日(金)交通・挨拶指導	14日(木)児童会役員立候補受付	2月の主な行事
身体測定3・4年、集金1日目	15日(金)租税教室6年	2日(火)新入児入学説明会
11日(月)成人の日	21日(木)書き初め校内締め切り	6日(土)市PTA研修会
12日(火)身体測定5・6年	22日(金)児童会立会演説会リハーサル	18日(木)授業参観
集金2日目	23日(土)県P指導者研修会(白浜町)	

自転車に正しく乗ろう！

新年あけましておめでとうございます。みなさんは、冬休みをどのようにすごしましたか？新型コロナウイルスの影響もあり、普段と違う冬休みとなってしまった人も多かったのではないのでしょうか。

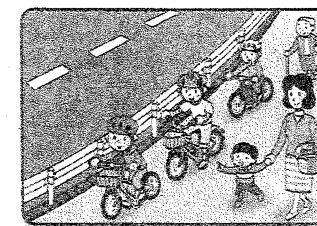
さて、放課後の子どもたちの様子を見てみると、自転車を使つての移動が多いように思われます。今年度は本来行われる予定であった交通安全指導を行うことができませんでした。そこで、自転車を安全に乗るためのお約束を確認しておきましょう。

自転車の交通ルール 自転車安全利用五則

① 自転車は、車道が原則、歩道は例外

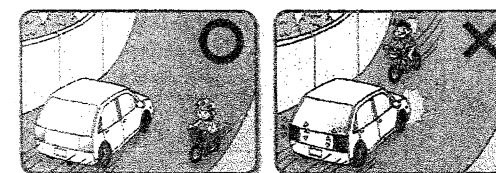
●自転車は、車道の左側を通ることが決まっていますが、子ども(13歳未満)が自転車に乗ることができます。

しかし、それはあくまで例外です。歩道は歩いている人が優先です。



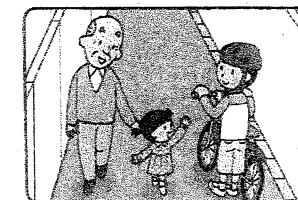
② 車道は左側を通行

●車道を通る時は、左側を通ります。右側を通ると、左側を走っている自転車や自動車にぶつかるキケンがあります。



③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

●歩道は歩いている人が優先です。歩道を通るときは、車道側によって通行し、歩いている人の邪魔になりそうときは止まりましょう。



④ 安全ルールを守る

- 二人乗りはいけません。
- 夜はライトをつけましょう。
- 「とまれ」のひょうしきや、道路に「とまれ」とかいているときは、かならずとまって安全をかくにんしましょう。
- 自転車どうして、横にならんで走ってはいけません。
- 信号はかならず守りましょう。
- 左右が見えにくい交差点を通るときは、しっかり左右の安全をかくにんしましょう。

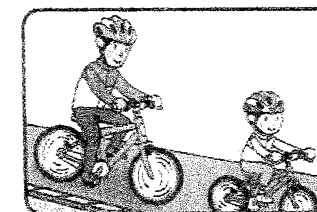


⑤ 子どもはヘルメットを着用

●自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶりましょう。

※保護者の方へ

…保護者の方は、13歳未満の子どもにヘルメットをかぶらせるように努めなければならないと道路交通法第63条の11に示されています。



他にも、まだまだ注意しなければならないことはたくさんあります。自分自身がけがをしない、そして相手にけがをさせないことが大切です。お家でも、ぜひ自転車のルールについて話し合ってみてくださいね。